

# 名誉会員 高橋延匡 博士を偲ぶ

益田 隆司

本会監事／電気通信大学

高橋延匡先生は、平成14年6月30日膵臓がんのため逝去されました。享年68歳でした。わずか2カ月のご闘病生活でした。6月のある日、病室で、「まさに晴天の霹靂だよ」とお話をされました。おいとましようと席を立ったとき、「おい握手をしよう」とおっしゃいました。時間が経つにつれて、そのなかに、高橋さんの万感の思いを感じます。2週間後にも、「医療の力を信じ、天命に従うだけだよ」と、闘争心を秘めながらも平生と変わりなくお話をされました。

高橋さんは、昭和32年3月早稲田大学理工学部数学科を卒業され、日立製作所中央研究所に奉職されました。燦然と輝くお仕事は、HITAC5020モニタの開発です。昭和39年に新設された東京大学大型計算機センターに、HITAC5020が選定され、30歳を超えたばかりで、OS開発の総指揮をとられました。IBMシステム/360、OS/360と同時期です。純国産の5020モニタは、本格的な多重プログラミング方式のOSとして大きな成功をおさめました。初代センター長の高橋秀俊先生をはじめ、錚々たる先生方からも、「エンキョウさん」と呼ばれ、親しくお付き合いをされていました。

その後、中央研究所では、仮想記憶方式のTSSの研究開発が始まりました。MITのMULTICSの影響です。そこでもまとめ役を務められ、我々はその下で日夜仕事をしました。OSの技術革新の最も華やかな時代で、自分たちがその中心にいることを感じながら仕事のできた楽しい青春時代でした。夜、8時、9時に帰ろうものなら、「おや、今日はどうしたんだい」という高橋さんの声が飛んでくるのが常でした。

しかしながら、この後、日立製作所は、国産路線を中止し、富士通とともに、IBM互換路線を歩むことになりました。OSでは、思想、設計哲学こそが大事と考えていた高橋部隊は、その路線に乗ることができませんでした。解散を強いられ、若いものは他で再教育、ご自身は、計算機を離れ、単身、企画室に移られました。「この世の中に愚かな者がいるとすれば、それは不安の虜になっている人のこ

とかもしれない」という文章が古い手帳に強調されて書き留められていたと、告別式の日、ご長男が紹介されましたが、この頃のことでした。鎌倉報国寺菅原義道住職のお言葉だそうです。

昭和52年4月、東京農工大学に移られ、力点を教育に置き、再び目覚ましい活動を開始されました。数理情報工学科の設立に尽力され、独自の方式によるOSオミクロンの開発、その上での手書き文字認識、日本語情報処理などの研究を手掛けられ、多くの学生を育てられました。行政面でも、学生部長、工学部長を歴任されました。ご定年後の拓殖大学でも工学部長を務められました。

本学会では、情報工学科の標準カリキュラムの作成、アクレディテーション制度の確立などでも、中心的な役割を演じられました。

人並みはずれた努力家でした。感じられたことは、いつもその場でノートをとっておられました。学生は宝だからと、授業の改善には尽きる事のない努力をしておられました。30歳を過ぎてから、泳げるようになるうと一大決心をされ、毎日、机の上で平泳ぎのパターンを繰り返していらっしゃいました。ついに身

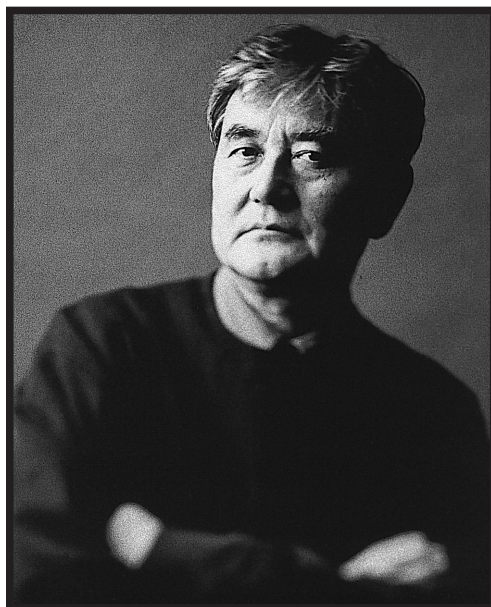
体がそれを憶え、中央研究所のプールにはいったらそのまま25メートルを泳ぎきってしまいました。机上デバッグは完全でした。

どこにおいても、ご自分の土俵をつくり、多くの人をそこに上げ、類い希なる指導者としての素質によって、かわった人を育て、仕事を成し遂げる方でした。

ご趣味も多彩でした。古典落語は群を抜いていました。志ん生、文楽、円生など噺家のテープの収集もたいへんなものです。落語のなかに、人の世を見て、人生を学んでいらしたようにも思います。

生涯をエンジン全開で駆け抜けられ、多くの人々の心に強い印象を残されました。もっともっと生きていて欲しい方でした。心からご冥福をお祈り申し上げます。

(平成14年7月19日)



©Jed & Kaoru Share

## 御 略 歴

昭和 8年 7月1日	東京都江東区深川生まれ
32年 3月	早稲田大学第一理工学部数学科卒業
32年 4月	株式会社日立製作所入社中央研究所勤務
50年12月	理学博士（早稲田大学）
52年 4月	東京農工大学教授
平成元年 8月	東京農工大学学生部長
5年 4月	東京農工大学工学部長
9年 4月	東京農工大学名誉教授
9年 4月	拓殖大学教授
11年 4月	拓殖大学工学部長
14年 6月30日	逝去（68歳）
昭和35年 5月	情報処理学会入会（会員番号196004447）
48年 5月	情報処理学会論文賞
49年 5月～51年 5月	情報処理学会理事
平成 3年 4月～5年 3月	情報処理学会情報処理教育カリキュラム調査委員会委員長
5年 5月～7年 5月	情報処理学会監事
8年 5月～10年 5月	情報処理学会副会長
10年 4月～13年 3月	情報処理学会アクレディテーション委員会委員長
11年 5月	情報処理学会功績賞
12年 5月	情報処理学会名誉会員

### 受賞・栄誉

平成 3年 1月	山内奨励賞
----------	-------